



市長に要望書を提出する議員団

福祉・暮らし守って

全力でがんばります

今年こそ、良い年にしたい。みなさん共通の願いではないでしょうか。

安心して働き、安心して暮らせる社会、そんな当たり前のことがむずかしくなっています。

政治が市民、国民の生活をしっかりと見つめていないからではないでしょうか。力を合わせて、働くこと、生きることを励ます政治、くらしや福祉を応援する政治に変えましょう。

二〇〇五年 新春

- 市議会議員 ときた邦夫
- 市議会議員 金子としえ
- 市議会議員 山田とし子
- 市議会議員 新井たくみ
- 市議会議員 滝沢おさむ

議会報告をお届けします。



日本共産党

2005年 新年号

新飯能

日本共産党飯能市委員会973-1091

市民のみなさんと力合わせて

要求実現



市民とともに対市交渉



乳幼児医療費の窓口払いなしに

長年の運動によつて、十二月から乳幼児医療費助成制度の窓口払いがなくなりました。昨年からは五歳未満児まで対象年齢が拡大されましたが、さらに拡大される見通しです。

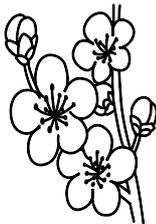


市民の声が届かない！
議員定数削減

一月二一日の臨時市議会にて定数削減の動きがあります。しかし、合併協議会で「次期の市議選は定数二六名で行う」ことが合意され

ています。この合意を破ることは、協議会の信義を破る行為で、認められるものではありません。また、名栗地域など有権者の少ない

地域からの議席の排除にもつながり、市民の声が届かなくなります。



介護保険の減免が実現

利用料の助成制度に加えて、十五年度から保険料の減免制度が実現しました。生活保護に該当する程度の方、生活状態の方、またはそれに準ずる方は、七割〜九割程度の軽減が図られるようになりました。



地元業者の仕事確保へ

小規模工事登録制度の対象工事限度額が一三〇万円まで拡大され、小規模業者でも公共事業が受けられる機会が増えました。住宅リフォーム助成制度も実現の見通しです。



子どもが安心して学童保育へ

十四年に加治東小、十五年に一小（空教室利用）、十六年に加治小（借り上げ方式）が公設化され、市内七ヶ所全ての学童保育所が整備されました。この間、指導員の社会保険事業主負担の補助も実現しました。



オール与党
の市議会
自民・保守・公明

「行革」の名で 福祉・教育バツサリ

変えましょう市民本位に 日本共産党

大規模開発の破たん ツケを市民に押しつけ

公団の開発に税金150億円

公団・大河原開発が全面的に見直しに追い込まれる

など、大規模開発優先の街づくりは完全に破たん。

学校建設、道路、上下水道整備など大規模開発につき

込まれた市民の税金はなんと一

五〇億円にも。過大投資のツケ

が水道料金、下水道料金の値上

げとなって市民に重くのしかかっ

ています。

このような無謀な街づくり計

画を推進し、市民に犠牲を押し

つけてきた自民・保守・公明の

「オール与党」の責任が厳しく問われています。

下水道料金を30%も値上げ

市は、十二月議会に三〇%もの料金値上げを提案

共産党以外の保守・公明の賛成多数で可決しました。

日本共産党は、四つの問題点を指摘し反対しました。

①不況、デフレのなかで、公共料金値上げを行う時期

にないこと②三八億円で購入した処理場用地三・五ha

が未利用となっており、使っていない分まで料金転嫁

していること③条例にある受益者負担金の徴収が二〇

年も放置され、十七億円が未収となっていること④料

金値上げ前に市民説明会を行うと約束しながら実施し

ていないことです。

国保税 4人家族 2万3千円もの値上げ

市は、十六年に国保税を平均で約五千

八百円も値上げしました。四人家族では、

二万三千円にも。高すぎる国保税は払い

たくても払えない状態です。現在の滞納

世帯は二千世帯を超えています。

さらに市は、来年二月から国保税の滞

納者と呼び出しに応じない場合、病院窓

口で一旦全額自己負担しなければならな

い「資格証明書」

を交付するとし

ています。命に

関わる重大問題

で認めるわけに

はいきません。



奨学金、敬老年金削る

市は、六年連続

して奨学金の貸付

額を減額しました。

しかも、希望者が

いるのに一律の基

準で貸し付けを制

限して、予算を余らせている状況です。

七五歳からのお年寄りに出されていた敬

老年金を八千円から五千円に。さらに来

年度は、七七歳、八八歳、百歳など節目

支給に変えようとしており、お年寄りに

冷たい市政です。



必要のない 県水に一億円も

市の水利権は、十

万六千人分。二万六

千人分の水が余っ

ているのに、県水を

日量三千トンも買い、

その費用が来年度予算で一億円にも。



下水調査に 4千万円も

下水処理に、汚

水と雨水を分けて

行う分流式と雨水・

汚水を一緒に行う

合流式があり、飯

能市は大半が合流

式です。この方式

は、大雨のとき、

河川に生放流する

ことになり、不衛

生です。国の指導もあつて、十五十六年度で改善

調査が実施され、その委託費は四千四百万円にも。

できあがった報告書と改善計画は、全国同じような

計画で実態調査とは無関係。全くのムダ使いです。



川寺・願成寺下の吐口

一方でこのムダ使い!

さうじく一億八千万円の

支払い求めぬ埼玉県

さらに県は、五千五百トンの県水を買
うよう要求、一億八千万円の支払いを求
めてきています。こんなムダ使いをして
いたら水道料金が高くなるのはあたりま
えです。